

## 平成30年度 柏崎市防災会議 会議録（要約）

1 日 時 平成30年8月1日（水） 午後1時30分から3時まで

2 場 所 市役所本館1階 第1会議室

3 出席者 出席者名簿のとおり

### 4 議 題

- (1) 柏崎市地域防災計画（地震・津波災害対策編、風水害等対策編、原子力災害対策編）の修正案について
- (2) 柏崎市水防計画の修正案について

### 5 報 告

- (1) 平成30年7月豪雨への応援職員の派遣報告について
- (2) 平成30年度市民一斉地震対応訓練実施報告について
- (3) 平成30年度柏崎市職員災害対応訓練概要報告について

### 6 配布資料

- N o. 1：柏崎市地域防災計画（地震・津波災害対策編）修正案
  - N o. 2：同（地震・津波災害対策編）修正案新旧対照表
  - N o. 3：同（風水害等対策編）修正案
  - N o. 4：同（風水害等対策編）修正案新旧対照表
  - N o. 5：同（原子力災害対策編）修正案
  - N o. 6：同（原子力災害対策編）修正案新旧対照表
  - N o. 7：同（地震・津波災害対策編、風水害等対策編、原子力災害対策編）修正案の概要
  - N o. 8：柏崎市水防計画修正案
  - N o. 9：同修正案新旧対照表
  - N o. 10：同修正案の概要
  - N o. 11：パブリック・コメント「地域防災計画各編」及び「水防計画」修正案の結果
  - N o. 12：防災会議委員への資料送付後における各計画案の変更箇所一覧表
  - N o. 13：[報告] 平成30年7月豪雨への応援職員の派遣報告について
  - N o. 14：[報告] 平成30年度市民一斉地震対応訓練実施報告について
  - N o. 15：[報告] 平成30年度柏崎市職員災害対応訓練概要報告について
- ※N o. 11～15は当日配布。

### 7 開会挨拶

（会長）

各機関の皆様方からお忙しい中、ご参集賜りまして、まずもって御礼を申し上げます。ありがとうございました。本日は、柏崎市防災会議ということで、先般は西日本豪雨災害もございましたが、柏

崎市に関しても11年前の中越沖地震、その前の中越地震という地震災害、昨年は7月3日、4日の豪雨災害により土砂崩れ等も発生しております。いつ何時災害は起こるかわからないところであります。昨日、今日の報道を見ると防災のあり方、具体的に言えば避難勧告や避難指示を呼び掛ける際には、これまでの面的に指定することから、各個人、家庭等の具体的な細かいところまで個別に行う必要があるのではないかという指摘さえもでているところであります。そういった中で、各領域・各般の皆様方からご意見を賜り、柏崎市民の命と財産を守るための計画を作り上げていく必要があります。

今回の防災会議では、災害対策基本法の規定に基づく柏崎市地域防災計画の地震・津波災害対策編、風水害等対策編及び原子力災害対策編の修正案と、水防法の規定に基づく柏崎市水防計画の修正案について皆様方からご審議いただきたいと思っております。いろいろ法的な位置づけはございますが、柏崎市民の命と財産を守るために皆様方のお知恵とお力をお借りしたいと思っております。何卒よろしく願います。

## 8 議 事

### ■議事(1)

柏崎市地域防災計画（地震・津波災害対策編、風水害等対策編、原子力災害対策編）の修正案について、事務局から概要説明。あわせて、パブリックコメント実施結果及び防災会議委員への資料送付後における各計画案の変更箇所について説明。

[質疑・意見等]

(委員)

- ・駅前低地で海拔2mの表示看板を設置してあるところもある。柏崎駅には旅行者も多く来ていて、いつどこで災害に遭うかわからない中では、そのような方々にも自分がどのような危険性がある場所にいるのか、海拔を関連させるなどして危険情報の周知を図っていただきたい。

(会長)

- ・今ご指摘の件については、現在行っている全ての事業を係単位で見直す「事業峻別」の中でも話している。旅行者の方々にも避難場所の位置等が分かるような看板を設置するよう、市内一斉にというわけにいかないが、順番に実施させていただく。

(会長)

- ・糸魚川大火の教訓を踏まえて、住宅用火災報知器の活用推進に関して記載がされた。本市はかなり普及が進んでいると思うが、現状を消防長から話してほしい。

(委員)

- ・本市の住宅用火災報知器設置率は、90%以上で県内最高率で推移している。市民の方々からご協力をいただきながら設置が進んでいる状況である。条例で平成23年度以降は設置義務化を図っており、設置100%に向けて高齢者世帯等を中心にさらに普及を進めていく。また、当初設置から10年程経過し、経年劣化による故障も心配されるため、定期的な点検による器具の交換などの方策を進めていく。

(会長)

- ・住宅用火災報知器の設置割合は本市が県内で一番である。消防本部並びに消防団が、1件1件住宅を回って普及に努めた。市としても順次防火対策の強化は行っているところである。

(委員)

- ・原子力災害対策編にある避難経由所について聞かせて欲しい。

(事務局)

- ・前回修正（平成27年）では「避難経由所」という言葉はなかったが、その後広域避難計画を作成する中で、言葉の定義がされた。既に防災ガイドブック（原子力災害編）で県内の避難経由所の場所は町内会単位で示しているが、今回の修正で改めて明記するものである。

(委員)

- ・市災害ボランティアセンターの設置に関しては、社会福祉協議会が市と連携して実施する必要があると考える。社会福祉協議会と市との役割分担など、記載内容に違和感、とまどいを感じている部分がある。円滑な設置のためにそのあたりを整理していきたい。

(事務局)

- ・従来から災害ボランティアセンターの設置に関しては、社会福祉協議会が主体となり、設置いただいている。記載内容に関しては、役割分担などを再確認させていただき、明確にしていきたい。

(委員)

- ・外国人の方が緊急時の避難を行ううえで、情報の多言語化が望ましいと考える。国際化協会でもそのような取組を行っているが、市からも発信していただくことでより大きな効果がでると思うので、国際化協会と協力して取り組んでいただきたい。

(会長)

- ・先ほどの避難場所の看板設置を行う中でも多言語化の取組、または絵によって外国の方からも避難していただけるような取組を行っていきたい。

(委員)

- ・計画の中で、「市民」「住民」等の使い分けがあるようだが、どう使い分けているのか。

(事務局)

- ・「市民」は、柏崎市内全域の方が対象となる。一方、「住民」は、即時避難区域(PAZ)など、市内の中でも地域が特定されている方を対象としている。また、「住民等」という記載もあるが、それは旅行者などの一時滞在者も含めた表現となっている。

(委員)

- ・原子力災害対策編の中で住民等の避難に関する記載で主語が「知事」や「内閣総理大臣」という部分がある。また、安定ヨウ素剤の予防服用の判断は、「原子力規制委員会」となっている。一律ではないようであるが、主語はどう使い分けているのか。

(事務局)

- ・原子力災害の対応の決定については、原則、原子力災害対策特別措置法により全面緊急事態以降は「内閣総理大臣」が緊急事態宣言を行い、即時避難区域の住民避難、安定ヨウ素剤の服用等を決定して県及び関係市町村に通達することとなる。通信機器の遮断等により、「知事」や「市長」が判断する可能性もあり、このような記載となっている。安定ヨウ素剤の予防服用の決定は、「原子力規制委員会」が判断することとなっている。

(会長)

- ・県計画と記載内容を合わせた記載となっていることと思うが、私自身も原子力政策及び原子力災害に伴う避難計画等に関しては国が一元的な責任を負うべきであると常々申し上げている。基本的には「内閣総理大臣」であると考えるが、緊急事態時に一元的、直接的に誰が指示を出すのかという部分は、今回のような意見があったと県及び国にも伝えていきたい。

(委員)

- ・各家庭に設置されている防災行政無線の戸別受信機に関しても住宅用火災報知器と同様に経年劣化が心配される。広報かしわざき等を通して、緊急時にも利用できるような不具合の解消を図るように周知してもらいたい。

(会長)

- ・大事なことなので、繰り返し広報かしわざき等を通して注意喚起を行っていききたい。故障等不具合があれば、遠慮なく市に連絡をいただき、交換等の対応をさせていただく。なお、防災行政無線に関しては、今後FMラジオを使用したシステムに代える予定である。

#### ■議事(2)

柏崎市水防計画の修正案について、事務局から説明。

[質疑・意見等]

- ・なし

#### ■決定・承認

柏崎市地域防災計画（地震・津波災害対策編、風水害等対策編、原子力災害対策編）及び柏崎市水防計画の修正について決定・承認された。

## 9 報 告

#### ■報告(1)

平成30年7月豪雨への応援職員の派遣報告について、事務局から報告。

#### ■報告(2)

平成30年度市民一斉地震対応訓練実施報告について、事務局から報告。

#### ■報告(3)

平成30年度柏崎市職員災害対応訓練概要報告について、事務局から報告。

## 10 閉会挨拶

(会長：市長)

終わりになりますが、本日は、各種団体の皆様から、いざというときの市民の命・財産を守るための会議にご参集を賜りましてありがとうございます。皆様方の協力なしには、この体制を組むことはできませんので、何卒それぞれの組織の方々にもよろしくお伝えいただき、地域防災にもご協力を賜ればと思っております。

平成30年度柏崎市防災会議出席者名簿

区 分	所属機関	役 職	備 考
会 長	柏崎市	市長	
1号委員	国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所柏崎維持出張所	出張所長	
2号委員	新潟県柏崎地域振興局	局長	
3号委員	柏崎警察署	署長	
4号委員	柏崎市教育委員会	教育長	
5号委員	柏崎市	消防長	
6号委員	柏崎市	副市長	
6号委員	柏崎市	危機管理監	
6号委員	柏崎市	上下水道局長	
7号委員	一般社団法人柏崎市刈羽郡医師会	会長	
7号委員	新潟県厚生農業協同組合連合会柏崎総合医療センター	病院長	
7号委員	柏崎商工会議所	副会頭	
7号委員	東日本旅客鉄道株式会社新潟支社柏崎駅	駅長	
7号委員	東日本電信電話株式会社埼玉事業部新潟支店	支店長	代理出席
7号委員	日本通運株式会社中越支店柏崎営業所	所長	
7号委員	東北電力株式会社柏崎電力センター	所長	代理出席
7号委員	越後交通株式会社柏崎営業所	所長	
7号委員	株式会社新潟日報社柏崎支局	支局長	
7号委員	柏崎建設業協同組合	理事長	
7号委員	新潟県トラック協会柏崎支部	支部長	
7号委員	柏崎ハイヤー協会	会長	
7号委員	株式会社柏崎日報社	代表取締役社長	
7号委員	株式会社柏新時報社	社長	
7号委員	株式会社柏崎コミュニティ放送	放送部長	
7号委員	社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会	会長	
7号委員	一般社団法人新潟県歯科衛生士会柏崎ブロック	ブロック長	
7号委員	一般社団法人新潟県看護協会	会員	
7号委員	北陸瓦斯(株)柏崎支社	支社長	
7号委員	原子力規制委員会原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所	所長	代理出席
8号委員	柏崎市コミュニティ推進協議会	会員	
8号委員	柏崎市男女共同参画審議会	副会長	
8号委員	かしわざき男女共同参画推進市民会議	会長	
8号委員	防災士チーム柏崎	会員	

欠席の委員

5号委員	柏崎市消防団	団長	
7号委員	柏崎農業協同組合経営管理委員会	副会長	

事務局：柏崎市防災・原子力課